

平成 28 年度 第 12 回（震災後 第 76 回）

陸前高田市保健医療福祉未来図会議

平成 29 年 3 月 17 日(金) 13:30～15:30

陸前高田市コミュニティホール 2 階大会議室

次 第

◆テーマ

「 私から始める他人（ひと）ごと意識の解消

～ノーマライゼーションという言葉のいらないまちづくりの実践～ 」

1 あいさつ

陸前高田市民生部長 菅野利尚

2 内容

（1）未来図会議のめざすこと ～一人ひとりが元気になる地域づくりに向けて～

陸前高田市地域包括ケアアドバイザー 岩室紳也

（2）報告（話題提供）

①平成 28 年度未来図会議実施状況概要

②ノーマライゼーションという言葉のいらないまちづくりプロジェクトチーム
による取り組み状況

③未来図会議参加者による平成 28 年度活動状況

- ・はまかだスポットガイド
- ・保健推進員
- ・介護予防教室
- ・・・

参加された各団体、個人の今年度の活動概要をお話し
いただき、ノーマの実践につながっていたか、はまかだ
の推進を意識した活動となっていたのかという視点も含
めてみなさんと一緒に振り返りたいと思います。

3 その他連絡・全体アナウンス

【事務局：陸前高田市民生部】

※次回（第 77 回）：平成 29 年 5 月 12 日（金）13：30～15：30

◆5 月メインテーマ（仮）： 地域福祉計画策定に向けて①

◆会場：陸前高田市役所 4 号棟 3 階第 6 会議室

平成 29 年度の陸前高田市保健医療福祉未来図会議の予定

平成 29 年度未来図会議年間テーマ（案）

「はまって、かだつて」に始まるノーマライゼーションという言葉のいらないまちづくり
～障がいや個性などを意識することのない、誰もが暮らしやすいまち～

○日程と月別テーマ案（※9 回を予定）

※現在、夜の時間帯の開催等、日程の最終調整中です。

- H29 年： 5 月 12 日（金） 地域福祉計画策定に向けて①
6 月 23 日（金） はまかだスポットガイドと居場所づくりについて①
7 月 20 日（木） 地域における子ども子育ての課題について① 夜？※調整中
8 月 18 日（金） 自殺対策計画について
10 月 13 日（金） 障がい者の地域参画について
11 月 9 日（木） 地域福祉計画策定に向けて② 夜？※調整中
- H30 年： 1 月 19 日（金） はまかだスポットガイドと居場所づくりについて②
2 月 16 日（金） 地域における子ども子育ての課題について②
3 月 23 日（金） 市民協働にむけて

○未来図会議の趣旨

住民の生活にかかわる関係者が集まり、住民一人一人の健康で文化的な生活及びノーマライゼーションという言葉のいらないまちづくりの実現を目指し、震災からの復興に向けた地域にとってよりよい体制づくりに寄与し続けられるよう、保健医療福祉分野の視点から中・長期的な展望を議論する。

○大きな方向性

- ・ノーマライゼーションという言葉のいらないまちづくりの推進
- 「はまってけらいん、かだつてけらいん運動」の推進
- ・ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチの融合・実践
- ・市民・他分野機関、他地域との協働、未来図（計画）策定
- ・居場所づくり、相互の経験に学ぶネットワークづくり

○陸前高田市保健医療福祉未来図会議メーリングリスト

◆こちらまでお知らせください。

<http://goo.gl/forms/NFUsNqBn3c>

平成28年度 第12回 (震災後76回) 陸前高田市 保健医療福祉未来図会議

平成29年3月17日(金) 13:30~15:30
陸前高田市コミュニティホール2階大会議室

本日(H29.3/17)の会議の概要

◆テーマ

私から始める他人(ひと)ごと意識
の解消
～ノーマライゼーションという言葉の
いないまちづくりの実践～

平成28年度の実施状況

○大目標(テーマ)： 他人(ひと)ごと意識の解消 ～ノーマライゼーションという言葉のいないまちづくりの実践～					主要テーマ	
回次	開会日	年月	参加者数	団体数		
1	65	H28.4月	32	13	6年目を迎えた陸前高田市におけるそれぞれの取組み ～個を活かす多様な形のコミュニティづくりに向けて～	
2	66	5月	48	14	下野市市民交流プラザから学ぶコミュニティの自発的な繋がりを促進していくためには	
3	67	6月	21	9	誰もが住みやすいまちづくりに向けて ～今ある差別の実態。できている・できていない合理的配慮～	
4	68	7月	43	11	通いの場づくり ～つながりを持ち続ける理由① 地域の宝物探し	
5	69	8月	48	15	NPOのつよみを活かした地域づくり ～知ってつながるNPO～	
6	70	9月	37	14	通いの場づくり ～つながりを持ち続ける理由② はまかだスポットマップの作成	
7	71	10月	40	14	療養病ケアアパートの『未来』についてはまっけてけらいいん。かだってけらいいん	
8	72	11月	40	20	子どもたちが希望を持ち、元気に育つ陸前高田市に向けて(2016秋) ～子ども・子育て環境と寄り添うそれぞれの現状とこれから～	
9	73	12月	47	18	エンド・オブ・ライフケアと地域コミュニティ ～地域でその人らしく最期を迎えるために～	
10	74	H29.1月	33	15	日々の生活はまかだノーマライゼーションという言葉のいないまちづくりへ ～第2回「(仮)はまかだスポットガイド」の作成に向けて～	
11	75	2月	35	16	その人らしく生きるこれからの陸前高田の地域包括ケア・地域医療 ～住民と繋がる医療の視点から～	
12	76	3月			私から始める他人(ひと)ごと意識の解消 ～ノーマライゼーションという言葉のいないまちづくりの実践～	
計			424	159		
平均			38.5	14.5	※H29.2月分までの途中集計	

陸前高田のいま

映像作製・提供

みんなで、やりやすべ！サイコウ勉強会 さま

本日(H29.3/17)の会議の進め方

◆タイムスケジュール

(1) 未来図会議のめざすこと

～一人ひとりが元気になる地域づくりに向けて～

陸前高田市 地域包括ケアアドバイザー 岩室紳也氏

(2) 報告(話題提供)

報告 「ノーマライゼーションという言葉のいない
まちづくりプロジェクトチームによる取り組み状況
陸前高田市民生部地域福祉課
障がい福祉係長 中川健司

本日(H29.3/17)の会議の進め方

◆タイムスケジュール

(2) 報告(話題提供)

報告 「はまかだスポットガイド」
一般社団法人SAVE TAKATA 理事 佐藤陸志氏

報告 「保健推進員活動」
陸前高田市民生部保健課 保健師 遠藤綾子

報告 「介護予防教室」
陸前高田市民生部保健課 保健師 千葉春香

未来図会議の目指すところと 「これから」

未来図会議の目指すこと

住民の生活にかかわる関係者が集まり、**住民一人一人の健康で文化的な生活及びノーマライゼーションという言葉の**
いらないまちづくりの実現を目指し、震災のからの復興に
向けた地域にとってよりよい体制づくりに寄与し続けられる
よう、保健医療福祉分野の視点から中・長期的な展望を議
論する。

健康日本21(第2次)概念図

健康寿命の延伸・健康格差の縮小

ソーシャルキャピタルの向上

①地域のつながりの強化

〈ソーシャルキャピタルの向上〉

①地域のつながりの強化

〈多様な活動主体による自発的取組の推進〉

②健康づくりに主体的に関わる国民の割合の増加

③健康づくりの活動に主体的に取り組む企業数の増加

④健康づくりに関して身近で専門的な支援・相談が受けられる

民間団体の活動拠点数の増加

〈健康格差の縮小〉

⑤健康格差の実態を把握し、対策に取り組む自治体の増加

絆

はどう読みますか

絆(きずな)

つながり むすびつき

絆(ほだし)

手かせ 足かせ 迷惑 束縛

相反するから「お互い様」

ソーシャル・キャピタル(社会関係資本)の三要素

信 頼

3つは相互に関連

ネットワーク

規範(互酬性)
お互い様

絆(きずな: つながり、むすびつき)

絆(ほだし: 手かせ、足かせ、束縛、迷惑)

http://www.jpba.or.jp/sch/mcsm04_10.html

ソーシャル・キャピタル(絆[きずな+ほだし])の効用

健康面の効用

総死亡率 ↓

自殺率 ↓

自覚的健康度 ↑

健康行動 ↑

喫煙率 ↓

運動習慣 ↑

健康以外の効用

行政効率

まちおこし

防災対策

治安・防犯

子育て

教 育

就 労

経済成長

技術革新

ソーシャル・キャピタル(絆[きずな+ほだし])

平成26年度厚生労働科学研究(健康安全・危機管理対策総合研究事業)
「地域保健対策におけるソーシャルキャピタルの活用のあるり方に関する研究」
http://www.jpba.or.jp/sch/mcsm04_10.html



19人刺殺障害者標的

重傷者2月に犯行予告
殺人未遂容疑

相模原
施設名や手口記述

読賣新聞

2016年(平成28年)
7月27日 水曜日

でも、社会は個人の問題に

自己愛性パーソナリティ障害 (narcissistic personality disorder)

1. 自分が重要だとする誇大な感覚
2. 限りない成功、権力、才気、美しさ、理想的な愛の空想
3. 自分が「特別」
4. 過剰な称賛を要求
5. 特権意識
6. 自分自身の目的を達成するために他人を利用
7. 他人の気持ちを認識しない
8. 他人に嫉妬、他人が自分に嫉妬していると思ひ込む
9. 尊大で傲慢な行動、態度

容疑者「自己愛性障害」

鑑定留置終了、起訴へ

相模原殺傷事件

殺人手配の男 8人殺傷

駅周辺、次々刺す
無職の24歳逮捕



読賣新聞

2008年(平成20年) 3月24日 月曜日

読賣新聞

2017年(平成29年)
2月25日 土曜日

はまてけらいいん かたてけらいいん

みづめる
相模原殺傷事件

感じたこと 口にする機会を

教育現場では、今回の事件を話題にしたり授業で扱ったりしてもらいたい。子供たちが事件のことを知らないはずがない。教員が触れないこと自体、大人は避けていると思うだろう。

未来図会議は

でつながりを強化し
コミュニティをつくるため
の考え方を共有する場



ICT=Information and Communication Technology これからの健康づくりの進め方

Information 情報
がどんなに正確でも

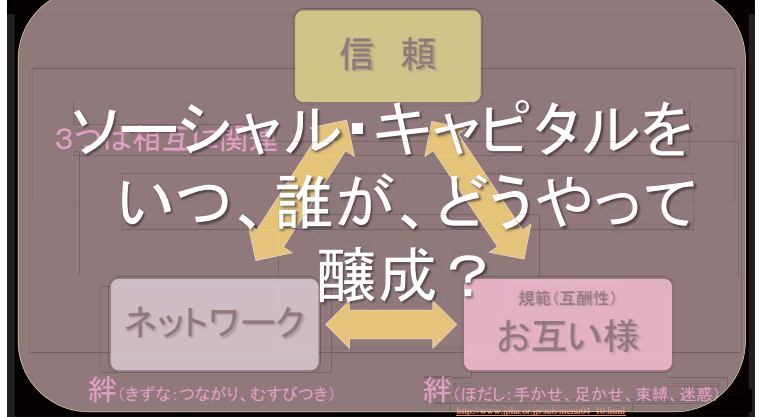
Education 教育
をどんなに充実させても

Knowledge 知識
が増えるだけ

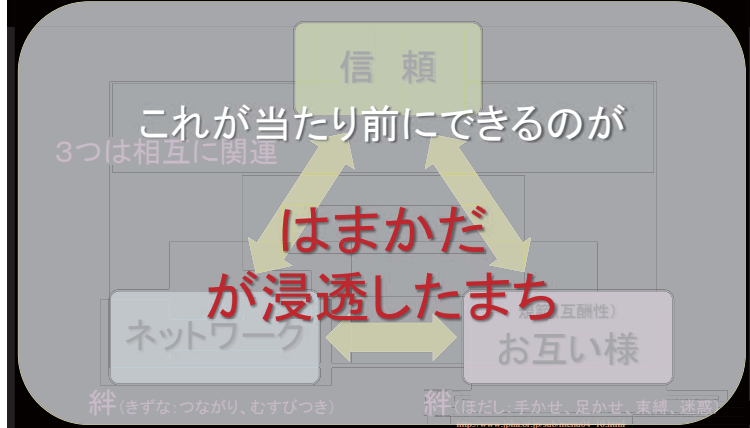
Life Skill 生きる力
健康は育めない

Communication 対話・関係性・絆(きずな+ほだし)
を通した課題の実感、感動や経験の共有、
ピア(仲間からの)プレッシャーがなければ

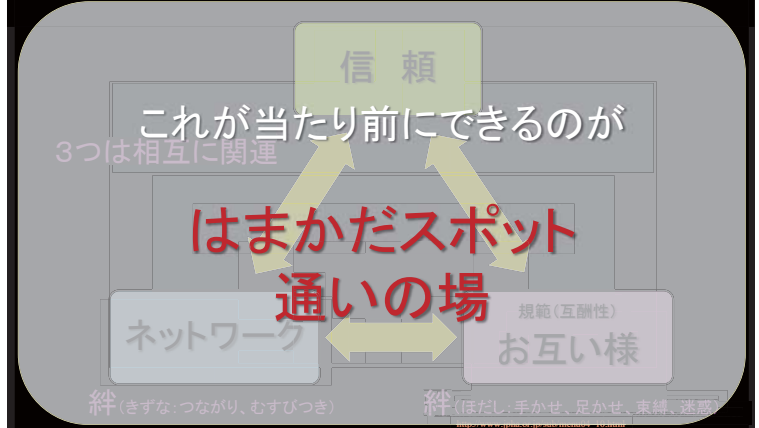
ソーシャル・キャピタル(社会関係資本)の三要素



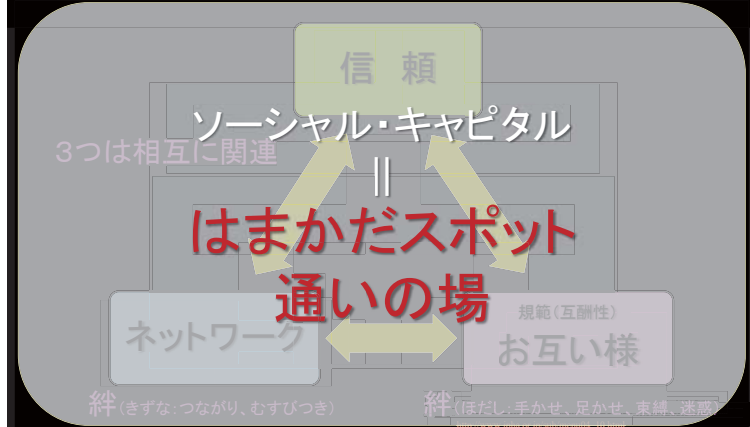
ソーシャル・キャピタル(社会関係資本)の三要素



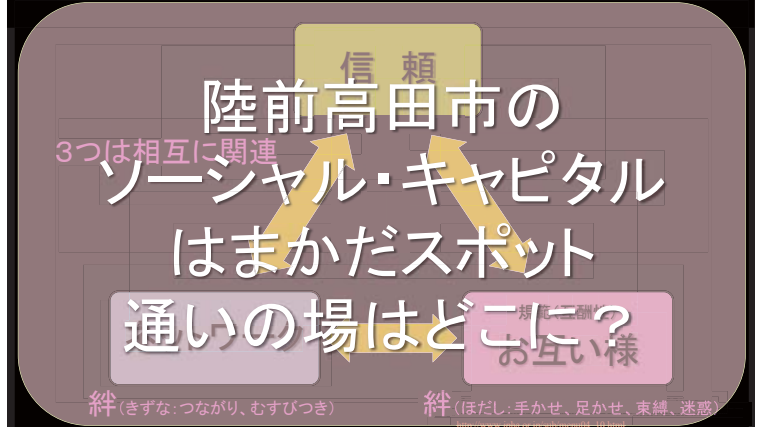
ソーシャル・キャピタル(社会関係資本)の三要素



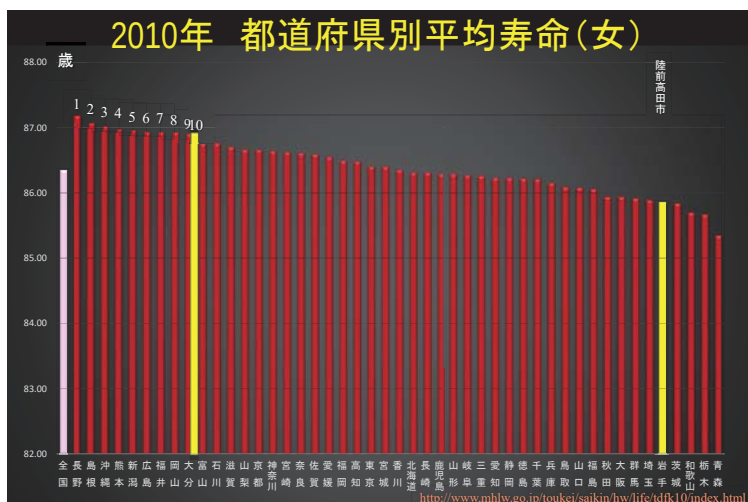
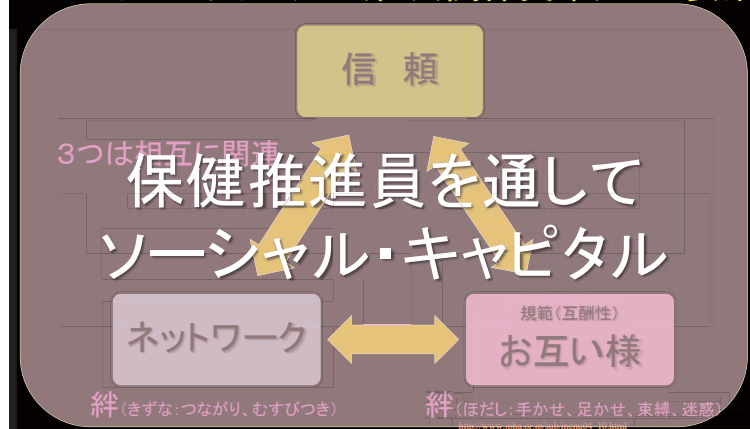
ソーシャル・キャピタル(社会関係資本)の三要素



ソーシャル・キャピタル(社会関係資本)の三要素



ソーシャル・キャピタル(社会関係資本)の三要素



そもそも「雄(オス)」とは?

群れない習性

関係性に学べない、一人で犯罪

欲望(性欲・顕示欲・独占欲、等々)の塊(かたまり)

名刺と役割がないと人前に出られず

「プライド」の生き物

人に言われても変われず、おだてられないといじける

雑談自体も緩和ケア



未来図会議
期 日：平成29年3月17日(金)
場 所：陸前高田市コミュニティホール

ノーマライゼーションという言葉のいないまちづくり 市の取り組みについて

ノーマライゼーションという言葉のいないまちづくり
推進プロジェクトチーム



ノーマライゼーションという言葉のいないまちづくり①

- 誰でもが暮らしやすいまちづくり
 - － 障がいのある人もない人も、誰もが住みやすいまちを目指し掲げられたビジョン
 - ・ 多様性を認め合い個性として尊重される
 - ・ あらゆる分野の活動に参加する機会が確保
 - ・ 自分らしい生き方を実現する
 - － 震災復興計画の基本理念「世界に誇れる美しいまちの創造」
 - ・ 美しい自然・風景だけではなく、心の美しい人々が暮らす魅力あふれるまち
- 「〇〇を「意識」しないで暮らせるまちづくり」
 - － 岩室先生記、現状は「〇〇を意識しながら、させられながら暮らせるを得ない、ストレスの多いまち」
 - ・ 障がい、年齢、セクシャリティ、病気、国籍といった個性



今、陸前高田市でUDを求める人々

- 高齢者 7,340 人 (人口の約 37%)
- 障がいのある人 1,174 人 (人口の約 6 %)
- 3歳未満 304 人 (人口の約 2 %)



陸前高田市では、約半数の方が
UDの街を必要としている



H28.4.1現在データ(外国人を含む)

ノーマライゼーションという言葉のいないまちづくり アクションプランの策定

- 5つの分野
 - － A-防災・コミュニティ・情報共有・PR
 - － B-教育・子育て
 - － C-保健・福祉・医療
 - － D-産業・雇用・観光分野
 - － E-インフラ・交通・住宅
- － 2015年3月「第3回国連防災世界会議 仙台開催」にて公表
 - ・ 東北の東日本大震災における経験と教訓や防災、復興に関する取組を国内外に発信し共有することにより、世界の防災の取組の推進に貢献していく
 - ・ 東北の人々が、防災や復興への取組などについて情報共有し、相互連携により防災意識をより向上させ、次世代に伝えていく契機に

56の
アクション



これまでの取り組み

- アクションプランの策定
- 推進本部会議・実務担当者会議
- 推進研修会(推進講演会・マスター研修)
- ユニバーサルマナー検定
- ユニバーサルデザインチェックリスト
- 中心市街地のUD監修
- 公共施設のUD化
- ノーマライゼーションという言葉のいないまちづくり推進講演会フォーラム
- その他関連事業



ノーマライゼーションという言葉のいないまちづくり 推進講演会 (2016.8.3)

- まちづくりの具体的なイメージや将来像を共有しながら、実現に向けた庁内外一丸となった推進に向けて機運の高まりを生み出すことに目的に開催
- 市職員、商工会、建築・建設業関係団体、市民団体他 280名が受講
- 「バリアバリューから社会を変える～復興のまちづくりからUD先進国をリードするまちへ～」
- 講師 垣内 俊哉氏
 - － 株式会社ミライロ 代表取締役社長
 - － 日本ユニバーサルマナー協会 代表理事
 - － 日本財団パラリンピックサポートセンター顧問
 - － みんなの夢AWARD3 グランプリ受賞



ユニバーサルマナー検定 (2016.8.20)

- 高齢者や障がい者らと向き合い、サポートする方法を学び、習得する日本ユニバーサルマナー協会の認定資格
- 自分とは違う誰かの視点に立ち、行動する人を育てます
 - 過剰な対応ではなくさりげない配慮
 - 選択肢を与える
- 市民、商工会、建設・建築業関係者、市職員など約80名が受講
- 講師 岸田 ひろ実氏
 - 株式会社ミライロ 講師
 - 日本ユニバーサルマナー協会 講師
 - 2014「TEDx Kobe@Youth」選出



ノーマライゼーションという言葉の知らないまちづくり推進マスター研修 (2016.8.24~)

	テーマ
第1回	「コミュニティが高める地域の防災力」 防災課 課長補佐 中村 吉雄
第2回	「支援の手を届けるために ～災害時に活かす平常時の取り組み～」 地域福祉課 課長 高橋 良明
第3回	「みんなに優しいまちをつくる ～ユニバーサルデザインのまちづくり～」 建設部 部長兼都市計画課長 前田 勝
第4回	「多様な方々と共に地域で暮らすために」 地域包括ケアコーディネーター 高梨 慎之 氏
第5回	「グローバルな視点で見た陸前高田の魅力とは ～魅力を開く、発信する、人を呼び込む～」 商工観光課 主事 大林 孝典 国際交流員 チャップマン・ディラン バットリック
第6回	「高田に心と愛をもち続ける『吾民』が築くまちに」 企画政策課 課長補佐兼政策推進係長 村上 知幸 生涯学習課 生涯学習係長 西白 直真
第7回	「いくつになっても住み慣れた地域で生活できるまちづくりとは」 地域包括ケアアドバイザー 近室 伸也 氏



- 市が全庁的に取り組むために職員を対象とした研修会を開催
- アクションプランに沿った5つの分野のテーマ
- 住民のしあわせづくりと魅力ある地域づくりによる地域振興を目指す



ノーマライゼーションという言葉の知らないまちづくり推進マスター認定証交付式 (H29.3.13)

市職員向けの人材育成、一定以上の得点を取得した方に認定証を交付

- 認定証 88名
 - 研修会(全6回)とその他講演会それぞれに得点を設け一定以上取得した方
 - 240点満点のうち150点
- ピンバッジ 37名
 - 認定証対象者でユニバーサルマナー検定3級以上対象



ノーマライゼーションという言葉の知らないまちづくり推進フォーラム (2016.10.4)

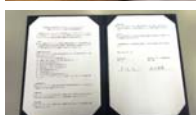
市民・地域・企業・行政が一体となって進めていくために開催

- 講演
 - 陸前高田市長 戸羽 太
 - 日本障害フォーラム 幹事会議長 藤井 克徳氏
 - 株式会社ミライロ 代表取締役社長 垣内 俊哉氏
- 絵画ギャラリー
 - 絵画作品展「祈り・絆・希望」 田崎 飛鳥氏
- パネル展示
 - 一般社団法人ドリームプロジェクト/株式会社ミライロ/陸前高田市(都市計画課・図書館・ノーマライゼーションという言葉の知らないまちづくり推進プロジェクトチーム他)



ノーマライゼーションという言葉の知らないまちづくりに関する包括的連携協定の締結 (2016.10.4)

- 株式会社ミライロとの包括的連携協定の締結
 - 平成28年10月4日
 - 推進フォーラム内での締結式
- 目的
 - 市とミライロが緊密な連携及び協働により、市の震災復興に向けた地域課題の解決と地域の活性化を推進し、震災復興計画の基本理念のひとつである「世界に誇れる美しいまちの創造」に寄与することを目的とする。



UDチェックリスト (2016.10.4フォーラム内発表)

- 誰もが暮らしやすいまちを目指し、UDについて分かりやすく取り組みやすい基準を設定。
- 今後、中心市街地をはじめ市内全域にUDに配慮した店舗が増えることで、誰もが利用しやすいまちにすることが目的
 - 店舗の設計時や建設後にチェックを行い、建物のUD化を進める
 - 市によってUDに配慮した店舗であると認定
 - 10/4ノーマライゼーションという言葉の知らないまちづくり推進フォーラムで発表



ユニバーサルデザインのまち

- これからできる中心市街地や新たな建物をUDを取り入れた基準で造る取組みを進めている

- 中心市街地のUD監修
- 新公共施設のUD推進
- UDチェックリストの作成
- わかりやすい案内看板等の整備（外国語案内標識）
- 市役所庁舎内の多機能トイレの設置等



陸前高田市 ノーマライゼーション推進大使の委嘱

- 復興のまちづくりの理念の一つである「ノーマライゼーション」という言葉の知らないまちづくり」を全国に広く宣伝し、イメージの高揚を図ることにより、文化産業、観光等の振興を目的に委嘱

- 8名の大使を委嘱（H28.11.20現在）
- 高田松原の被災松製の委嘱状



ノーマライゼーション大使一覧



今井 絵里子氏
いまい えりこ
沖縄県那覇市生まれ。歌手、女優、政治家。SPEEDのメンバー。



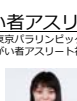
岩室 紳也氏
いわむろ しんや
横浜市在住。ヘルスプロモーション推進センター・オフィスいわむろ代表・医師。陸前高田市地域包括ケアアドバイザー。



藤井 克徳氏
ふじい かつのり
福岡県生まれ。東京都在住。日本障害フォーラム 幹事会議長。



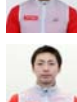
洞ノ上 浩太氏
ほきのうえ こうた
はきのうえ 隆上（マラソン）



杉野 明子氏
すぎの あきこ
バレーボール選手



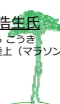
田崎 飛鳥氏
たざき あすか
埼玉県新座市生まれ。市内在住。画家。あすなろホーム所属。



加納 慎太郎氏
かのう しんたろう
車いすフェンシング



武村 浩生氏
たけむら こうせい
車いす陸上（マラソン）



ふるさと納税返礼品発送共同作業

- 障がい福祉施設より施設外就労にきている当事者と一緒に作業を行う
- 職員研修として
- 一般社団法人ドリームプロジェクト作業所
- 平成28年12月～1月
- 実績 16日間 延32名



障がい者福祉計画ワーキンググループ 「共生社会の構築」

障がい者福祉計画作成に係るワーキンググループに当事者も参加しています

- 身体障がい（肢体・視覚・聴覚）
- 精神障がい
- 発達障がい
- 知的障がい



市公式Facebookページ「Rikuzentakata/がんばっぺ陸前高田【陸前高田市】」より



AIDS文化フォーラムin陸前高田



- 医療や福祉の問題だけでなく、すべての人間が、HIV/AIDSに関わりを持ちながら、日常生活・社会的活動を行っているという「文化」の側面を重視して、毎年開催されるフォーラム
- 京都・横浜・陸前高田
- 今年は、平成28年11月20日に開催
- 今年度で10回目
- テーマ「ともに生きる～誰もが住みやすいまちに～」



はまってけらいん かだってけらいん

- はまってけらいん かだってけらいん
(参加／一緒になって) (話す・語る)
- つながりつづける健康づくりの合言葉



まとめ

- 今年度、市職員の人材育成を行いながら、全庁的な取り組みを広げていく仕掛けづくりを行った
 - どこかの部局が頑張ればいいことではない
 - 次年度も、人材育成を継続しながら市民との協働を仕掛けていく
- あらゆる場面で、あらゆる人が「ノーマ～」を意識して進めることができれば実現できるはず
 - 次年度は、市民向けの講演会等を実施する計画
 - 1人の100歩より、100人の1歩

すべての道はノーマに通ずる

はまかだスポットガイドについて

平成29年3月17日
保健医療福祉未来図会議
一般社団法人 SAVE TAKATA
佐藤 睦志

1. はまかだスポットガイド とは？

目的：はまかだスポットの見える化

ノーマライゼーションという言葉の知らないまちづくりアクションプラン



はまかだスポットの認定や
マップの作成など・・・

はまかだスポットガイド

2. はまかだとSAVE TAKATAの関係

SAVE TAKATAとは？

- ・ICTが得意な街づくり会社



はまかだへのアプローチは
主に「まちづくり」から

「陸前高田市健康づくり推進計画」P.25

2. はまかだとSAVE TAKATAの関係

SAVE TAKATAとは？

- ・ICTが得意な街づくり会社
→ 地域課題を解決するしくみづくり
→ 「陸前高田 復幸マップ」を制作



2. はまかだとSAVE TAKATAの関係

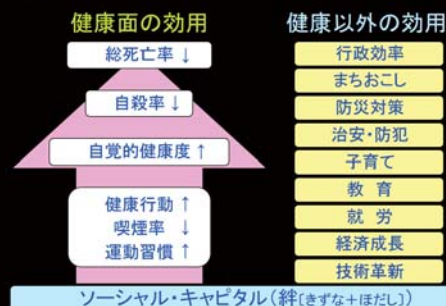
SAVE TAKATAとは？

- ・ICTが得意な街づくり会社
→ 地域課題を解決するしくみづくり
→ 「陸前高田 復幸マップ」を制作

はまかだマップ制作のご相談を受ける（2016/9）

- ・当時は「はまかだ運動」について理解が不足していた

ソーシャル・キャピタル（絆[きずな+ほだし]）の効用



平成21年度国土研究所研究（健康増進・危機管理対策委員会研究事業）
「地域社会の絆（きずな）とソーシャル・キャピタルの活用に関する研究」
<http://www.gri.go.jp/sohyo/research/110.html>

2. はまかだとSAVE TAKATAの関係

SAVE TAKATAとは？

- ・ICTが得意な街づくり会社
→ 地域課題を解決するしくみをつくり
→ 「陸前高田 復幸マップ」を制作

はまかだマップ制作のご相談を受ける（2016/9）

- ・当時は「はまかだ運動」について理解が不足していた
→ 街づくりの基本になるものと認識
→ マップを作っても使われなければ意味がない
→ 「マップ作りもはまかだで」と提案

3. はまかだスポットガイドの実現

目的：はまかだスポットの見える化

ノーマライゼーションという言葉の知らないまちづくりアクションプラン



3. はまかだスポットガイドの実現

未来図会議（2017/1）で出されたアイデア

- ・機能
検索、音声ガイド、目的別表示、高齢者でも、外から来た人も
- ・載せたい情報
いま活動している場所、バスの時刻、活動状況・写真、メンバーの顔が見える、相談先がわかる、お誘いのコメント
- ・置き場所、広報
市のHPからリンク、アナログとの接続、災害FM、タブレット
- ・追加したいはまかだスポット
認知症カフェ、移動販売車待ち時間、会長さん宅など

4. はまかだスポットガイドの目的

はまかだスポットガイドを作る目的

1) はまかだスポットの見える化

いつ、どこで、どんな「はまかだ」があるか？
身近な地域に「はまかだ」があるか？

2) はまかだ活動の啓発

はまかだとは、はまかだの効果、これもはまかだ

3) 民生委員（等）の営業ツール

→ 訪問時に、提案ができたり情報共有が可能なツール

5. はまかだスポットガイドのイメージ



地図



情報サイト



イベントカレンダーやブログ

引続き
アイデア募集中！！

（余談１）はまかだスポット調査

民生委員の営業ツールに使うために

１）はまりやすいスポットの特徴

→ 孤立をなくすことができる

２）効果の高いはまかだの特徴

→ はまかだの効果を証明できる

傾向は分析できそうだが、まだ緒についたばかり
→ 悩みながら進んでいます

（余談２）ＩＣＴを使う理由

なぜＩＣＴを使うか？

ICT= Information and Communication Technology

→ 情報とコミュニケーションの技術

→ 情報のバリアを低くするための技術

アーサー・Ｃ・クラーク

十分に発達した科学技術は魔法と見分けがつかない

→ 音声の読上げなど、ＩＣＴで解決できるが増えている

情報システムは、人が存在しないと稼働しない

→ 人を繋げる手段にもなる

→ ＩＣＴで完結せず、最後は回覧板を使うことも必要

引続き アイデア募集中！！

（広報）はまかだスポットガイド展示会

はまかだスポットガイドの展示会を行います。

日 時：3/22～23、26～27

場 所：コミュニティホール

はまかだ（交流）イベント

3/23 10:00～12:00

3/27 10:00～12:00

13:00～15:00



お気軽にお立ち寄りください。

よろしくお願いします

平成28年度
保健推進員活動について



はまかだ
推進員

陸前高田市 民生部 保健課 保健係

今年度の活動～4月から今まで～

平成28年4月
「委嘱状交付式・第1回会議」



町ごとの話し合い♪
初顔合わせ



今年度の活動～4月から今まで～

7月
「第1回研修会（岩室先生のお話&ニギニギ体操）」



講師は
岩室先生！



ニギニギを実践♪



今年度の活動～4月から今まで～

11月
「第2回研修会（ゲートキーパー養成講座）」



今年度の活動～4月から今まで～

2月
「第3回研修会（認知症サポーター講座）」

オレンジングゲット♪



今年度の活動～4月から今まで～

8～9月
「健康のつどい（ラジオ体操練習&本番）」

熊谷先生に教えて
いただきました♪



ブルーがとっても
きれいです♪



今年度の活動～4月から今まで～

平成29年1月
「市長懇談会（新庁舎の位置について）」



身近なお題に
話が盛り上がりました！

「市長懇談会（新庁舎の位置について）」

身近なお題に
話が盛り上がりました！

1年間を振り返って...

- 大変ではなかった
- 少し大変だった
- ふつう
- 大変だった
- とても大変だった
- その他
- 未記入

平成30年度 保健進路ガイダンスについて

今年の試験結果を基に、お答えの状況、今年への対策、アンケートへの返事をよりよく把握いたします。ご回答の、今後の指導等に、非常に活用させていただきます。お答えの正確な結果を、お申し込みいただいた(募集)の資料と合わせてご送させていただきます。ご回答も確定する前にごまかさないで頂きたいです。

1 保健系試験を希望する方について、試験結果と試験内容についてお答え下さい。送一式を必ずご回答ください。

【保健系試験について】

A: スキムで済ませたい
B: 基本を学んでいけるかも
C: 基本を学んでいけるかも
D: 基本を学んでいけるかも
E: 基本を学んでいけるかも
F: 基本を学んでいけるかも

【保健系試験について】

A: スキムで済ませたい
B: 基本を学んでいけるかも
C: 基本を学んでいけるかも
D: 基本を学んでいけるかも
E: 基本を学んでいけるかも
F: 基本を学んでいけるかも

【保健系試験について】

A: スキムで済ませたい
B: 基本を学んでいけるかも
C: 基本を学んでいけるかも
D: 基本を学んでいけるかも
E: 基本を学んでいけるかも
F: 基本を学んでいけるかも

2 試験結果と試験内容について、ご感想・ご質問・ご要望をお寄せください。

【保健系試験について】

A: スキムで済ませたい
B: 基本を学んでいけるかも
C: 基本を学んでいけるかも
D: 基本を学んでいけるかも
E: 基本を学んでいけるかも
F: 基本を学んでいけるかも

84名/121名 (69.4%) の回答がありました。
皆さまのご協力、大変ありがとうございました！

- たいへんやりがいがあった
- やりがいがあった
- ふつう
- あまりやりがいなかった
- やりがいなかった
- その他
- 未記入



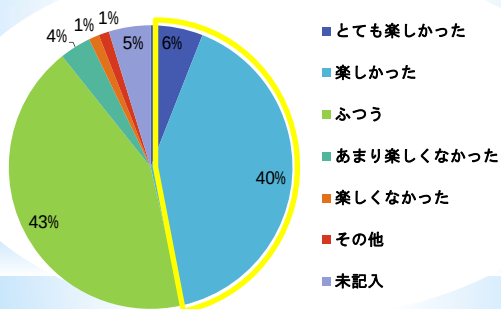
参加するほどに・・・

やりがいに繋がっている気がする・・・❤

地域にはまってみると
はまかだが心地よい^^

* 平成28年度を振り返り、
保健推進員活動はいかがでしたか？

☆楽しさについて☆(回答者84名)



まとめ



健康教室がきっかけで、声を
かけられ、人とのつながりが
できました。
活動のプレッシャーも感じま
したが、負担を感じた後は、
自分のためになったと思いま
した。

最初は、どうやって活動したらよ
いかもわからなかったけれど、1
年活動してみて、お互い顔を合わ
せること、横のつながりができ
ることが改めて大事だと感じまし
た。



参加者のみなさまから

陸前高田市 健康運動教室 2017 柞ヶ沢公園で みんなで体操しましょう

ラジオ体操やストレッチ体操で
全身を次々く動かし筋肉をほぐしたり、
筋力アップ運動で足腰を強くしたり、
ウォーキングで代謝アップ！
身近な楽しい音楽に合わせて
一緒にカラダを動かしませんか？

毎月 第2・第4 土曜日
9:00~9:40



ワンポイントアドバイス！
25分くらいゆっくりの歩み、15分の運動、走って
10分で、自分の体重の約半量とほぼ同じエネルギーを
消費できます！(体重:60kgなら83kcal) 市内に
柞ヶ沢公園のバス停は、およそ500mあります。



平成29年度未来図会議年間テーマ(案)

「はまって、かだって」に始まるノーマライゼーションという言葉の知らないまちづくり

～障がいや個性などを意識することのない、誰もが暮らしやすいまち～

次回(平成29年度第1回)未来図会議予定

◆日時

平成29年5月12日(金)13:30~15:30

◆メインテーマ(仮)

地域福祉計画策定に向けて

◆会場:陸前高田市役所4号棟3階第6会議室

◆次々回(平成29年度第2回)

平成29年6月23日(金)13:30~15:30

陸前高田市役所4号棟3階第6会議室

平成29年度の陸前高田市保健医療福祉 未来図会議月別テーマ予定

※現在、夜の時間帯の開催等、日程の最終調整中です。

H29年： 5月12日（金） 地域福祉計画策定に向けて①
6月23日（金） はまかだスポットガイドと居場所づくりについて①
7月20日（木） 地域における子ども子育ての課題について①夜？
8月18日（金） 自殺対策計画について
10月13日（金） 障がい者の地域参画について
11月9日（木） 地域福祉計画策定に向けて②夜？

H30年： 1月19日（金） はまかだスポットガイドと居場所づくりについて②
2月16日（金） 地域における子ども子育ての課題について②
3月23日（金） 市民協働にむけて

※年間9回： 4月、9月、12月は実施しない予定

陸前高田市保健医療福祉未来図会議 メーリングリスト

◆こちらまでお知らせください。

<http://goo.gl/forms/NFUsNqBn3c>

陸前高田市保健医療福祉未来図会議
参加希望申し込みサイト

未来図会議への参加もご希望される方はここから申し込んでください。

*必須

氏名 *

メールアドレス *

未来図会議

事後アンケートに

ご協力をお願いいたします。

◆平成27年度（2015年度）陸前高田市未来図会議実施状況

2017.3.17

H27年度	震災後	年月	参加者数	団体数	主要テーマ
1	53	H27.4月	47	23	これからの未来図会議と陸前高田市の未来図
2	54	5月	42	18	地域ごとのコミュニティヘルスの実践に向け ～市民交流プラザを切り口に～
3	55	6月	67	19	新たな市民を迎えた地区単位のコミュニティづくり ～役割を越えたコミュニティづくりを通じた健康づくり
4	56	7月	55	27	健康増進・母子保健関連計画の策定に向けて ～市民、関係機関と共に一人ひとりが健康に暮らせるまちづくりでの優先順位を考える～
5	57	8月	47	28	陸前高田市における地域づくりを通じた健康づくりの目標 ～日々の活動にあたり常に立ち返るキャッチコピーを決定～
6	58	9月	27	14	コミュニティヘルスと地域ケア会議を実践してみて
7	59	10月	33	28	みんなで住み暮らしやすい下和野団地（地域）について語りやすペえ
8	60	11月	25	28	障がいから見る健康づくり
9	61	12月	26	12	健康総合計画（仮称）における地区別計画について
10	62	H28.1月	31	28	陸前高田市の未来に向けて、健康総合計画確認の最後のチャンス！（市健康総合計画にかかる未来図会議パブリックコメント）
11	63	2月	52	28	他人（ひと）ごと意識の解消 ～今ある差別・虐待とこれからの配慮～
12	64	3月	72	27	データから見た陸前高田の現状と求められている取組みの実際 ～子どもたちに学ぶ陸前高田～
計			524	280	
平均			43.7	23.3	

【参考】

- ◆平成24年度（2012年度）：10回 延547名（平均45.6名）、※団体数集計なし
- ◆平成25年度（2013年度）：12回 延622名（平均51.8名）、延301団体（平均25.1団体）
- ◆平成26年度（2014年度）：12回 延516名（平均46.6名）、延261団体（平均23.7団体）
- ◆平成27年度（2015年度）：12回 延524名（平均43.7名）、延280団体（平均23.3団体）

◆平成28年度（2016年度）陸前高田市未来図会議実施状況

2017.3.17

◎大目標（テーマ）： 他人（ひと）ごと意識の解消 ～ノーマライゼーションという言葉のいらないまちづくりの実践～

H28年度	震災後	年月	参加者数	団体数	主要テーマ
1	65	H28.4月	32	13	6年目を迎えた陸前高田市におけるそれぞれの取組み ～個を活かす多様な形のコミュニティづくりに向けて～
2	66	5月	48	14	下和野市民交流プラザから学ぶコミュニティの自発的な拡がりを促進していくためには
3	67	6月	21	9	誰もが住みやすいまちづくりに向けて ～今ある差別の実感、できている・できていない合理的配慮～
4	68	7月	43	11	通いの場づくり ～つながりを持ち続ける理由～① 地域の宝物探し
5	69	8月	48	15	NPOのつよみを活かした地域づくり ～知ってつながるNPO～
6	70	9月	37	14	通いの場づくり ～つながりを持ち続ける理由～② はまかだスポットマップの作成
7	71	10月	40	14	県営栃ヶ沢アパートの「未来」についてはまってけらいん、かだつてけらいん
8	72	11月	40	20	子どもたちが希望を持ち、元気に育つ陸前高田づくりに向けて（2016秋） ～子ども・子育て環境と取り巻くそれぞれの現状とこれから～
9	73	12月	47	18	エンド・オブ・ライフケアと地域コミュニティ ～地域でその人らしく最期を迎えるために～
10	74	H29.1月	33	15	日々のはまかだをノーマライゼーションという言葉のいらないまちづくりへ ～第2回「（仮）はまかだスポットガイド」の作成に向けて～
11	75	2月	35	16	その人らしく生きるこれからの陸前高田の地域包括ケア・地域医療 ～住民と創る医療の視点から～
12	76	3月			私から始める他人（ひと）ごと意識の解消 ～ノーマライゼーションという言葉のいらないまちづくりの実践～

計 424 159

平均 38.5 14.5 ※H29.2月分までの途中集計

はまかだスポットガイド 展示会



in陸前高田コミュニティホール

※はまかだ...陸前高田市が推進しているはまっぺけらいん かだっぺけらいん運動の略。

はまかだスポットガイド展示会

3月22日、3月23日、3月27日 エントランスホール

※24、25は実施しません。

3月26日 シンガポールホール

はまかだイベント開催日時（会場：大会議室A）

3月23日(木)

10:00～12:00

☆バランスとんぼ作り

& 竹とんぼ飛ばし大会

☆パステルアート

※パステルアート...パステルを削り、
粉状にして指などで描く絵のこと

3月27日(月)

10:00～12:00

13:00～15:00

☆パステルアート

☆アロマクラフト



色々なはまかだスポットをエントランスホールにて展示、
紹介しております。

楽しいイベントもあるので、ぜひご参加ください。



お問い合わせ

一般社団法人SAVE TAKATA

電話 0192-47-3287

- ・事前予約の必要はありません。
- ・お子さんだけの参加は勿論、親子での参加也大歓迎！
- ・大人だけでも楽しめます！
- ・材料は全て用意してありますので、手ぶらでお越しください。

主催：一般社団法人SAVE TAKATA

平成 28 年度介護予防教室振り返り交流会



泊お楽しみクラブ



グランドゴルフ自主グループ



老止会（おとめかい）



はまかだ推進

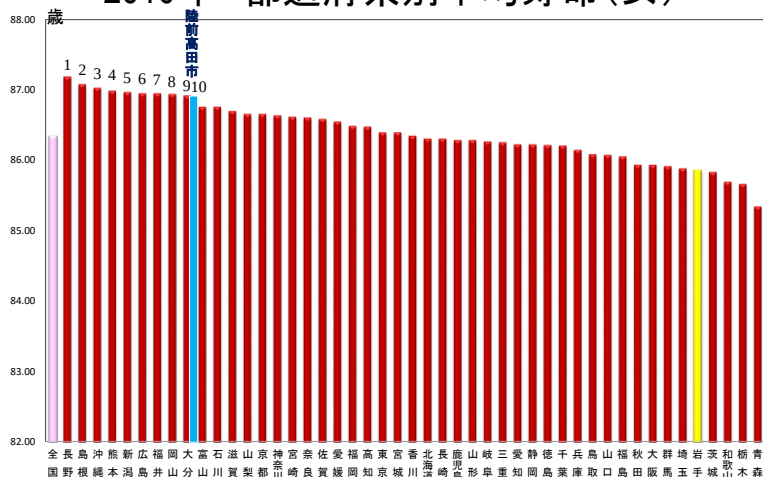


矢作ペア（94 歳 90 歳）



総踊り（高田音頭）

2010年 都道府県別平均寿命(女)



2017年3月16日



りくカフェ スマートクラブ

Rikucafe Smart Club

身も心も健康でいきいきと

りくカフェでは、地域の皆さんと楽しく介護予防・健康づくりに取り組んでいます！
気軽にできる体操、健康づくりのコツがわかる講座などの他、毎日の食卓に取り入れてほしい、ヘルシーな和定食を参加者の皆さんと楽しむというプログラムです。
気軽にご参加ください！

<日時>： 4月19日(水) スタート

基本コース 6回

気仙茶・ハーブコース 4回

11:00～13:00 毎週水曜日

<会場>： りくカフェ (高田町字鳴石 22-9)

<会費>： 500 円/回

<対象>： 陸前高田市在住で介護予防に興味のある65歳以上の方

<定員>： 8 名

<主催>： 特定非営利活動法人 りくカフェ

<共催>： 陸前高田市 保健課 54-2111 (内線 248)

<各回のプログラム>

10:50～11:00 血圧・体重測定

11:00～11:30 健康体操

11:30～12:30 健康ミニ講座

12:30～13:00 昼食

健康ミニ講座の内容

健康寿命をのばそう！ 料理教室

ヨガの呼吸法 栄養のお話

ツボを知ろう お口のケア

気仙茶 ハーブ

<参加お申込み・お問い合わせ> りくカフェ 陸前高田市高田町字鳴石 22-9

TEL 0192-22-7311 *定員になり次第、締切らせて頂きます。